

「学校検診研修会」に参加しました

当院の大垣院長が2026年2月26日、戸畑区医師会主催の学校検診研修会に参加いたしました。

当日は、福岡県医師会学校保健委員会委員(運動器部門)の大橋輝明先生(大橋整形外科クリニック 院長)を講師にお迎えし、「運動器検診の現状と今後の取組-課題と対応について-」というタイトルでご講演をいただきました。

毎年春に実施される学校健康診断には、「脊柱・胸郭の診察」を含む運動器検診があります。運動器検診で異常が疑われて二次検診の対象となるのは約15%で、そのうち約9%が実際に運動器疾患と診断されるということです。

このような運動器検診が義務化されたのは2016年4月と比較的新しく、運動器検診は小学校で実施されています。

まず、気をつけの姿勢をして始まり、歩く、気をつけの姿勢、起立して両肩を上げる、など計18項目を確認し、このうち第14項目に側弯チェックのための体の前かがみがあります。

福岡県の令和6年度の運動器検診結果では、二次検診を勧められた児童の約80%が側弯関連でしたが、実際に二次検診を受診したのは約30%と低いことが課題として挙げられました。心臓や腎臓の二次検診受診率が約80%であるのことに比べると大きな差があります。

側弯症は、早期に発見し適切に対応することが重要です。治療介入の遅れは、その後の成長に影響を及ぼすことから、受診しやすくなるようなシステム構築が必要との話がありました。

今回の研修を通じて、整形外科分野の検討に関する知識を改めて深めることができ、大変有意義な機会となりました。

今後、地域の学校健康診断に携わる機会がありましたら、地域の子どもたちの健康管理に貢献できるよう努めてまいります。

